

公益財団法人仏教伝道協会

令和6(2024)年度事業計画書

公益財団法人仏教伝道協会は、日本文化の基本でもある慈悲と共生の仏教精神と仏教文化とその学術振興を促進し、現代的理解を弘め、グローバルな啓蒙活動を通して豊かな人間性を育て、より良い社会形成を推進し、もって人類の幸福と世界平和の実現に貢献することを目的とし、その目的を達成するため、定款に定める事業に沿って「令和6年度事業計画」を立案する。

1. 公益目的事業計画（公1）

1. 趣旨（目的）まとめた理由

仏教典籍の現代語訳、外国語訳を行いその刊行、普及事業や仏教関連の各種講座、研究会の開催による仏教精神の啓蒙活動、さらに仏教音楽祭などによる仏教文化の興隆と継承活動、また仏教精神、学術、文化の振興に積極的に関わってきた個人、団体への顕彰・助成等いろいろな支援事業を通して世界中の一人でも多くの人に理解していただき、豊かな人間性を育て、より良い社会形成促進をもって人類の幸福と世界平和の実現という共通の目的達成の手段であり下記の2-1)から2-3)までの事業は、つながりのあることから一つにまとめている。

2. 事業

2-1) 仏教典籍の現代語訳及び外国語訳による編集とその普及事業

1. 「仏教聖典」現代語訳、外国語訳刊行、頒布事業に関する事項

◇「仏教聖典」各国語訳とその出版について

全世界に仏教思想を伝えるべく、「仏教聖典」の翻訳改訂を進めている。現在、翻訳言語数は46言語に及び、翻訳と共に既刊の「仏教聖典」をより現代に即した内容にするための改訂編集に努めている。令和5年度に『和文仏教聖典B6判』の改訂を終えたが、そのデータを元に令和6年度は『改訂版 和文仏教聖典A6判』『改訂版 和文仏教聖典普及版A6判』『改訂版 和文仏教聖典普及版B6判』を発刊する。また『英文仏教聖典』の改訂準備を進める予定である。

また、「仏教聖典」の副読本である『さとの知恵を読む』、「仏教聖典」の一部を抜粋、編集した『ブッダのおしえ』（日本語版）についても今回の和文仏教聖典改訂に準じた変更を加える。

◇「仏教聖典」の普及について

世界の主要ホテルの客室に「仏教聖典」を寄贈常備する活動を行っている。令和6年度は国内外のホテルへ約8,650冊（国内8,000冊、海外650冊）の寄贈を予定している。

仏教系学校および保育施設への聖典普及については継続してその頒布に努め、寄贈約24,500冊、販売11,000冊を予定している。また、病院、社会福祉施設、行刑施設、公共機関、海外協力機関等への寄贈活動も継続して行う。『さどりの知恵を読む』は、仏教系学校および保育施設を中心に約20,000冊を寄贈する。

『ブツダのおしえ』は全国の有名観光寺院、ミュージアム、学校等への約48,000冊（日本語版33,000冊、各国語版15,000冊）の寄贈の他、施本として日本語版10,000冊の販売を予定している。

また、令和5年度に行ったブータン王国の教育機関・僧院などへのゾンカ語版10,000冊の寄贈を記念した贈呈式を、令和6年4月、ブータン内務大臣にご臨席いただき首都ティンプーで開催する予定である。

◇聖典ボランティアによるホテルへの寄贈活動の促進

令和3年度より地域に根差した布教活動を実施している全日本仏教青年会のメンバー等に「聖典ボランティア」として仏教聖典のホテルへの寄贈活動の支援者として参画を依頼しており、すでに47都道府県90名が登録され、活動支援をいただいている。令和6年度も本活動を継続する。

2. 英訳大蔵経の刊行、頒布事業に関する事項

欧米をはじめとする英語文化圏に向けての仏教精神の理解と普及のため、「集大成された仏典」である『大正新脩大蔵経』の英訳刊行事業を日本の仏教伝道協会と米国仏教伝道協会の共同事業として進めている。第一期分として全体量の約10分の1に相当する139典籍の翻訳・刊行を進め、これまでに米国仏教伝道協会より、97典籍67巻を刊行すると同時に、既刊典籍のPDFデータをHP上で公開し、英訳大蔵経の利便性・公共性を高めている。令和6年度も翻訳を進め、『大方広仏華嚴経』（5冊）等10冊の出版と公開、新刊毎に約110冊の国内頒布を予定している。

◇「英訳大蔵経」テキストTEI化について

TEI(Text Encoding Initiative)とは人文学資料デジタル化の世界基準でテキストのメタデータをインターネットで効率的に共有する規格である。この基準に準拠した英訳大蔵経のデータ作成を行う。令和6年度は既刊の英訳大蔵経の3,700ページ分のTEI化作業と、『妙法蓮華経』『浄土三部経』等の主要典籍1,200ページ分のSATとのテキストデータリンクの作成を行う。

3. その他仏教書籍の出版、頒布に関する事項

仏教の精神文化の裾野を広げるためカレンダー・仏教書籍を制作、全国の寺院、学校、保育施設等へ頒布する。

◇「一日一訓カレンダー」の普及について

「仏教聖典」や古今の名言から文言を選び、日々の暮らしに仏教を活かすツールとして日めくりの「一日一訓カレンダー」を作成している。

令和2年度より新シリーズ「六波羅蜜」の刊行を開始し、令和6年度は『一日一訓カレンダー-禅定-』として壁掛け版 125,000部を印刷、国内外の寺院を中心に販売、またホテル・病院・学校などに寄贈する予定である。なお、カレンダーに掲載する写真については、令和5年度の第10回フォトコンテストで入選した作品を使用する。

◇「一日一訓カレンダー」フォトコンテスト及び写真展の開催について

平成26(2014)年より「一日一訓カレンダー」の文言に併せて掲載する写真を広く一般から公募し、写真を通じて仏教に親しんでもらうためのフォトコンテスト(賞金総額165万円)を実施している。

昨年度に引き続き、「第11回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」を開催し、「2026年用一日一訓カレンダー(2025年刊行)」に掲載する写真を公募する。

また令和5(2023)年度「第10回一日一訓カレンダーフォトコンテスト」入選作品の写真展を、令和6(2024)年4月12日～6月10日に宮城・瑞巖寺、6月14日～9月8日に京都・平等院ミュージアム、9月13日～11月7日に東京・築地本願寺にて開催する。

なお、平等院では6月27日(木)に宇治市の幼稚園を招待し、瀧見英明氏による人形劇を、6月28日(金)に書家 鈴木猛利氏による書道パフォーマンスを開催する。

◇「みちしるべ」出版について

「一日一訓カレンダー」の文言を、より深く理解するための解説書として施本「みちしるべ」を出版している。令和2年度より六波羅蜜シリーズを開始、令和6年度は5巻目となる『みちしるべ-禅定- 思いを静める』を刊行する。執筆者は大谷哲夫氏(曹洞宗僧侶)、倉松俊弘氏(真言宗智山派僧侶)、吉水岳彦氏(浄土宗僧侶)の3名。寺院を中心に約32,000部を頒布する予定である。

◇『禅僧は語る』発刊について

さまざまな禅語をキーワードに、禅宗の僧侶の方々の法話アンソロジーとして『禅僧は語る』を令和6年9月頃に刊行する。これまでの「みちしるべ」に掲載された法話からの抜粋に新たに書き下ろしの法話を加える予定である。主に禅宗系寺院などに約25,500部の頒布を見込んでいる。

2-2) 仏教精神と仏教文化とその学術振興の促進に対する助成と表彰事業

1. 留学生奨学金制度に関する事項

◇外国人留学生奨学金制度について

奨学生が自国に戻り日本で学んだ仏教精神とその文化を弘く伝えていただきたいとの願いから、日本で仏教学研究を希望する外国の学者・研究者または学生に対して、外国人留学生奨学金交付制度を設けている。

令和6年度奨学生の募集は、令和5年3月1日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約150通送付して依頼及びホームページで一般公募を行い、8名の申請があった。

令和5年10月2日に外国人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の2名（受給者①、②）が選ばれ、令和6年度外国人留学生奨学金の支給を実施する。なお、令和5年度に採用され現在受給中の奨学生1名（受給者③）より受給期間延長についての申請があり事務局および奨学金審査委員が検討した結果、全委員一致で支給期間を1年間延長することを承認、今後詳細を調整する予定である。

また令和7年度奨学生の募集を行い令和6年7月末まで申請を受け付け、10月頃に審査を実施する予定である。

受給者情報は下記の通り。

受給者① 氏名：Jackson Cole Macor（メイコー・コール・ジャクソン）

支給期間：1年間（単身）

国籍：アメリカ

日本での所属機関：駒澤大学

指導教授：奥野光賢教授

研究内容：吉蔵撰『中観論疏』と東アジアにおける三論学派

受給者② 氏名：Seongil Park（朴 聖逸 パク・ソンイル）

支給期間：1年間（単身）

国籍：韓国

日本での所属機関：東京大学

指導教授：菟輪顕量教授

研究内容：鎌倉時代から江戸時代までの仏教の十戒研究

受給者③ 氏名：Mingyuan Gao（高 明元 ガオ・ミンユアン）

支給期間：1年間（単身）

国籍：中国

日本での所属機関：早稲田大学

指導教授：山部能宜教授

研究内容：「習気/熏習」の概念と「種子」との関係について

◇日本人留学生奨学金制度について

平成 25 年度から日本人の学者や研究者が海外の大学や研究機関にて仏教精神とその文化を学び、将来世界のこの分野で大きく貢献してくれることを期待して日本人留学生奨学金制度を設けている。

令和 6 年度奨学生の募集は、令和 5 年 3 月 1 日から国内外の有名大学や研究機関へ留学生奨学金案内書と推薦書を約 150 通送付。ホームページで一般公募を行い、3 名の申請があった。

令和 5 年 10 月 2 日に日本人留学生奨学金審査委員会を開催し、次の 1 名(受給者①)が選ばれ、令和 6 年度日本人留学生奨学金の支給を実施する。また令和 7 年度奨学生の募集を行い 7 月末まで申請を受け付け、10 月頃審査を実施する予定である。また、令和 5 年度に 3 年間の受給予定にて採用された奨学生 1 名(受給者②)の 1 年目の支給期間が終了、報告書の提出があり、2 年目の継続支給にあたり問題がない旨、事務局および奨学金審査委員によって確認・承認された。

受給者情報は下記の通り。

受給者① 氏名：安川真由（やすかわ・まゆ）

支給期間：1 年間（単身）

渡航先：オーストリア・ウィーン大学 南アジア・チベット仏教研究所

渡航先での指導教授：Prof. Christopher V. Jones（クリストファー・V・ジョーンズ助教授）

研究内容：曇無讖訳『大般涅槃経』における増広部分の研究

受給者② 氏名：中山慧輝（なかやま・けいき）

支給期間：3 年間（付帯家族 1 名あり）

渡航先：ドイツ・ライプツィヒ大学 インド学・中央アジア学研究所

渡航先での指導教授：Prof. Jowita Kramer（ヨーヴィタ・クラマー教授）

研究内容：『瑜伽師地論』「撰異門分」研究—瑜伽行派の経句解釈—

◇「奨学金留学生交流会」開催について

例年、来日中の外国人奨学生およびその指導教授と、これから留学するまたは既に留学を終え帰国した日本人奨学生を招き、互いの研究内容を共有し、交流を深めていただくための「奨学金留学生交流会」を開催している。コロナ禍で 3 年間中止をしていたが令和 5 年度 7 月に 4 年ぶりに実施し、計 16 名の委員・奨学生・指導教授他が出席。令和 6 年度も日程調整の上、実施予定である。

2. 顕彰事業に関する事項

仏教伝道文化賞は、国内外を問わず、仏教精神、仏教文化、仏教学術及び布教伝道など仏教に関わる幅広い分野で貢献された方がたの功績を讃え、また今後のさらなる活躍を願い表彰する賞として昭和 42(1967)年に創設された。

長年に亘って仏教伝道文化に貢献のあった方または団体に「仏教伝道文化賞

(賞金 500 万円)」を、また今後の仏教伝道を通じた文化活動の振興が、大いに期待できる方または団体に「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞(賞金 300 万円)」を授与する。

令和 6 年度は 10 月 17 日(木)に贈呈式の挙行を予定している。4 月初旬より国内外の仏教各宗派、大学等の教育機関、研究機関、仏教団体、報道機関、政府機関及び専門家等に推薦依頼状を送付、「仏教伝道文化賞」及び「仏教伝道文化賞 沼田奨励賞」の推薦を受け、7 月 25 日(木)に仏教伝道文化賞選定委員会を開催し、令和 6 年度の受賞者を決定する。

3. 助成事業に関する事項

当協会の事業目的と同じ目的を持ち、その活動を積極的に展開している個人及び団体を選定し、当協会の目的とする事業実現のため国内外で助成支援を行う。助成にあたっては、外部有識者や専門家からなる助成金審査委員会のもと、公正な審査を経て選定、助成する。

令和 6 年度助成対象 {令和 5 年度募集分、交付時期(2024 年 4 月～2025 年 3 月)}を審査するため、令和 6 年 1 月 16 日に助成金審査委員会が開催され、審議の結果、下記の団体にそれぞれ助成金を交付することが決定し、令和 6 年度は国内総額で 12,900,000 円、海外は、€86,930、£8,200、SG\$5,500、NT\$250,000 の助成を実施する。

A. 沼田仏教講座新規開設及び運営維持助成金

団体名	申請事業名称
ウィーン大学哲学・教育学部 哲学科	沼田仏教講座学術プログラム支援「仏教を根幹とする比較思想」

B. 海外協力機関活動支援助成金

団体名	申請事業名称
BDK Asia (アジア仏教伝道協会)	仏教聖典の頒布活動
BDK Taiwan (台湾仏教伝道協会)	仏教伝道協会の出版物の頒布

C. 団体支援助成金

団体名	申請事業名称
日本印度学仏教学会	日本印度学仏教学会における、情報化対応を介した国際的学術交流及び文化貢献の促進事業
特定非営利活動法人 鎌倉てらこや	鎌倉てらこやー大学・寺社・行政・市民ボランティアの協働による地域コミュニティ再興事業ー
公益財団法人 中村元東方研究所	公益財団法人として研究調査事業・研究助成事業・顕彰事業・普及事業
特定非営利活動法人 全国てらこやネットワーク	てらこやネットワーク事業

D. 事業支援助成金 - D-1. 仏教精神・文化普及活動及び人道支援活動

団体名	申請事業名称
公益財団法人 全国教誨師連盟	教誨師研修事業
公益社団法人シャンティ国際ボランティア会	宗教施設を活用した防災減災推進事業
一般財団法人お寺と教会の親なきあと相談室	「親なきあと」問題を解決するためにお寺と教会を活用した「地域コミュニティ」の形成プロジェクト
The Buddhist Society	The Buddhist Society 100th Anniversary Memorial Lecture Series on Japanese Buddhism

D. 事業支援助成金 - D-2. 仏教学術振興活動

団体名	申請事業名称
龍谷大学 龍谷ミュージアム	2024 年度 春季特別展「文明の十字路 パーミヤン大仏の太陽神と弥勒信仰ーガンダーラから日本へー」
Verein für Komparative Philosophie und Interdisziplinäre Bildung /KoPhil (比較哲学・学際教育学会 /KoPhil)	KoPhil Lecture Series: Buddhist Philosophy in Dialogue with Contemporary Sciences (現代科学との対話における仏教哲学)
Numata Center for Buddhist Studies (ハンブルク大学沼田仏教学センター)	ハンブルグ大学沼田仏教学センターにおける仏教講座運営
ハワイ仏教文化財研究会	ハワイ日本仏教寺院の文化財資料を中心とした研究と保存、継承

D. 事業支援助成金 - D-3. 仏教文化財保護活動

団体名	申請事業名称
東京藝術大学大学院美術研究科 文化財保存学専攻 保存修復彫刻 研究室	調査・修復・模刻を通じた仏教彫刻文化財を守る 人材育成事業

助成金分割交付分

団体名	申請事業名称
University of Vienna (ウィーン大学・オーストリア)	沼田仏教講座活動助成

2-3) 仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動と支援事業

1. 啓蒙活動としての仏教関連講座、セミナー、研究会等の運営に関する事項

◇仏教を英語で学ぶ会について

英語を通して仏教精神を学ぶことを目的とし、平成 23 年より「仏教聖典を初歩英語で学ぶ会」を開講。平成 28 年度より外国人観光客の増加に向けて寺院等で英語によるガイドができる人材育成に貢献することを目的とした「Buddhist English Guide プログラム」を開始。令和 5 年度からは「仏教を英語で学ぶ会」として、広く英語学習者もしくは仏教に興味がある方に向けて 3 名の講師によりそれぞれ異なるテーマで講座を開講している。令和 6 年度は仏教の基本的なおしえから日本仏教までを通して学ぶことができる仏教英語講座を目指し、下記のテーマと講師で講座を開講する。

日程・テーマ	講師
PART 1 英語で学ぶブッダの教え 第 1 回 4 月 25 日 (木) ブッダが考えた苦しみ 第 2 回 5 月 23 日 (木) ブッダの目覚め 第 3 回 6 月 13 日 (木) ブッダの教え	大來尚順氏 (浄土真宗本願寺派 超勝寺住職、翻訳家)
PART 2 英語で学ぶ日本仏教 第 1 回 7 月 20 日 (木) 大乘仏教とは？ 第 2 回 8 月 10 日 (木) 大乘仏教の悟り 第 3 回 9 月 14 日 (木) 大乘仏教の世界観	リサ・グランバック 氏 (龍谷大学非常勤講師)
PART 3 英語で学ぶ日本の仏教 第 1 回 10 月 5 日 (木) 仏教伝来から 神仏習合まで 第 2 回 11 月 2 日 (木) 禅と日本文化 第 3 回 12 月 7 日 (木) 浄土の情景	伊藤真 氏 (東洋大学・大正大学など 非常勤講師/親鸞仏教セン ター嘱託研究員/翻訳家)

(定員 会場 60 名、オンライン 100 名)
(参加費 会場参加・オンライン参加とも通年 13,500 円 (税込・全 9 回分)、
各 1 パートのみ 6,000 円 (税込、各パート 3 回分)
(講義時間 18:30~20:00 の 90 分)

◇仏教を英語で学ぶ会 集中講座編について

令和 5 年度の「仏教を英語で学ぶ会」において、特に好評を博した「英語で『般若心経』」を集中講座 (全 4 回) として開講する。講師に藤田一照氏 (曹洞宗僧侶) を招き、英訳『般若心経』を講読していく形式で実施する。

(定員 会場 60 名、オンライン 100 名)
(参加費 会場参加・オンライン参加とも 10,000 円 (税込・全 4 回分)
(講義時間 18:30~20:00 の 90 分)

◇実践布教研究会について

日本仏教の祖師がたが歩まれた道を、現代に生きる僧侶たちが自ら体験することによって、聞・思・修、一体となった仏道を体験していただき、仏教の現代的理解の促進、ならびに各宗派の僧侶間の交流を推進すべく、各宗派の本山を会場に毎年 1 回 2 泊 3 日にて実践布教研究会を開催しており、現在までにその開催実績は 51 回を数える。

令和 6 年度は 5 月 22 日(水)から 5 月 24 日(金)まで、第 52 回実践布教研究会として日蓮宗総本山身延山久遠寺 (山梨県) を会場に「日蓮聖人の仏道〜お題目に学ぶ」をテーマに開催する。また、研究会での講演内容 (映像) を編集し、ホームページにて公開する予定。

◇仏教聖典を生活に活かす会について

仏教精神を日常生活に活かすことを目的として、「仏教聖典」を基本教材に、「仏教聖典を生活に活かす会」(全 10 回、毎月 1 回、原則第 4 火曜日、13 時 30 分から 15 時まで) を主催運営する。講座は会場参加とオンライン参加の同時開催とし、講師は、名取芳彦氏 (真言宗豊山派密蔵院住職) と松本智量氏 (浄土真宗本願寺派延立寺前住職)。(参加費:各回会場参加・オンライン参加とも 1,000 円、学生割引 700 円)

◇仏教聖典を経営に活かす会について

仏教精神を学び事業経営や仕事に活かし、また人生の道標の一助とすることを目的とし、「仏教聖典」を基本教材に、「仏教聖典を経営に活かす会」(全 10 回、毎月 1 回、原則第 4 金曜日、18 時から 19 時まで) を主催運営する。講座は会場参加とオンライン参加の同時開催とし、講師は、一楽真氏 (大谷大学学長) と千葉公慈氏 (東北福祉大学学長)。

(参加費:各回会場参加・オンライン参加とも 1,000 円、学生割引 700 円)

なお、4月には、日本仏教への理解を深めると同時に参加者同士の交流をはかることを目的に、「仏教聖典を生活に活かす会」の参加者と合同で、寺院等を訪問し、研鑽する「合同研修会」を開催する。

◇BDK シンポジウムの開催について

平成 25 年 4 月から、一般の方がたに、より仏教文化、仏教精神の素晴らしさを広く知っていただく機会を提供するため、BDK シンポジウムを企画、実施している。

令和 6 年度は、「仏教聖典を経営に活かす会」福岡開催「運がよくなる! 仏教の教え〈仕事編〉/ 講師: 千葉公慈氏」、自分自身の人生の支えや救い(みちしるべ)となった言葉を講師(僧侶)が紹介する「人生のみちしるべ〜本物の言葉はあなたを救う」、「ブッダ」と“自身”の関係を仏塔、浄土、仏性をキーワードに考える「ブッダはどこにいるのか?〜内なる仏、外なる仏〜(仮題)、仏教的な側面を含め多角的な視点で“睡眠”について考える「睡眠と仏教(仮題)」の計 4 回の開催を企画検討している。

(参加費: 各回会場参加・オンライン参加とも 2,000 円、学生割引 1,500 円)

◇BDK 仏教ヨガ講座の開催について

平成 27 年度より、健康や美容という視点に焦点が当てられていたヨガを、釈尊が実践していた修行体系(呼吸法)の一つであることに戻り、法話を聞きヨガを行う「仏教ヨガ講座」を開催してきた。

令和 3 年度からは高野山真言宗僧侶でもあるヨガインストラクターの MOMO 氏を講師とし、法話を聞きヨガと瞑想を実践する講座を毎月 1 回(原則第 1 水曜日、午後 7 時 00 分から午後 8 時 30 分まで)開催。令和 6 年度も会場とオンラインを同時開催にて継続する。(参加費: 会場・オンラインとも 1,000 円、学生割引 700 円)

◇仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」について

平成 28 年度より、仏教の基本的な知識に触れることの少ない方を対象とし、日本仏教の各宗派の基本的な教義や宗祖について学ぶ、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を開催している。

令和 6 年度は、首都圏以外の方へ仏教伝道協会を周知することをねらいとして令和 5 年度の大坂開催に引き続き 8 宗派を取り上げ全 8 回を名古屋にて開催する。名古屋駅徒歩圏内の AP 名古屋で 7 回、7 月の浄土真宗の回のみ真宗大谷派名古屋別院を会場としてオンライン配信を同時に実施する。なお、開催日程、各回の講師等については以下の通り。

開催日程	テーマ	講師名
4月23日(火)	天台宗	小野常寛氏(天台宗 普賢寺 住職)
5月28日(火)	真言宗	小池陽人氏(真言宗須磨寺派 須磨寺 寺務長)
6月25日(火)	浄土宗	工藤量導氏(大正大学 専任講師)
7月30日(火)	浄土真宗	杉浦道雄氏(真宗大谷派 称名寺 住職)
8月27日(火)	時宗	岩田尚登氏(時宗 満福寺 住職)
9月24日(火)	臨濟宗	野田晋明氏(臨濟宗妙心寺派 林昌寺 副住職)
10月22日(火)	曹洞宗	宇野全智氏(曹洞宗総合研究センター研究員)
11月26日(火)	日蓮宗	互井観章氏(日蓮宗 経王寺 住職)

(定員 会場 50名、オンライン 100名)

(参加費 会場参加・オンライン参加とも1回1,500円、通年10,000円)

: 学生割引1回1,100円、通年7,500円)

(講義時間 18:30~20:30の120分)

また、令和元年度から、仏教初心者講座「一から学ぶ日本の仏教」を経て、もう少し深く学びたいという方に向けた仏教初心者講座“特別編”を企画、開催しており、令和6年度も実施する予定である。

◇「特別坐禅会」の開催について

平成28年度からはじまり、以降令和5年度(令和2、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)まで6回にわたり坐禅とヨガを組み合わせた「特別坐禅会」を曹洞宗大本山總持寺にて開催してきた。令和6年度も坐禅、ヨガ、精進料理を通じて仏教に触れてもらうため、引き続き總持寺にて開催する。ヨガ講師に日本のヨガ界の第一人者として活躍する綿本彰氏を招き、また曹洞宗僧侶の藤田一照氏よりご講話をいただく予定である。(参加費: 精進料理付き 8,500円・学生割引6,300円、精進料理なし 5,000円・学生割引3,700円)

◇FM大阪ラジオ企画について

若年層へのアプローチと仏教伝道協会の知名度の拡大をはかるため、関西圏をカバーするFM大阪にて、平成30年度より放送を開始したラジオ番組「笑い飯 哲夫のサタデーナイト仏教」(毎週土曜日深夜24:15から15分間)を令和6年度も継続する。月替わりで僧侶(偶数月)と著名人(奇数月)をゲストに迎え、仏教を広く、わかりやすく伝える。

◇「体感する仏教 ～上野・谷中編～」の開催について

「さまざまな宗派のお寺で仏教の実践を体験する」をコンセプトに企画した「体感する仏教 ～上野・谷中編～」を2024年10月に開催する。上野の寛永寺・谷中の天王寺を中心に境内の史跡を散策し、上野と寺院の歴史や仏教を学習する。(参加費: 一般6,000円、学生割引4,500円)

◇「輝け！お寺の掲示板大賞 2024」の開催について

お寺の掲示板の標語の写真を撮影し、X（旧 Twitter）や Instagram に投稿してもらい、受賞作品を決定する「輝け！お寺の掲示板大賞 2024」を開催する。第 7 回目となる令和 6 年度も仏教メディアなどの協力を得ながら、7 月 1 日～9 月 30 日まで作品を募集し、12 月 5 日に受賞作品を発表する。

◇オンライン法話会「週刊法話ステーション」について

本企画は、コロナ禍によりお寺でのさまざまな行事が中止や延期を余儀なくされた状況を受けて、令和 3（2021）年 1 月より開始。仏教伝道の原点のひとつである“法話”を広く一般の方がたへお届けするため、ZOOM 配信を使用し毎週、各宗派の僧侶に法話をいただいている。放送回数は令和 6（2024）年 3 月末で 153 回。令和 6 年度もこれを継続する。

◇「こころを豊かにする精進料理教室～食を通じて仏教を学ぶ」開催について

令和 5 年度、食の観点よりいのちの大切さを再認し、仏教に親しんでいただく講座として季節毎各宗派の講師を招き開催した「こころを豊かにする精進料理教室～食を通じて仏教を学ぶ」を令和 6 年度も内容を更新して実施予定。

通常回では、受講者に講師監修の精進料理レシピを調理デモンストレーション付で紹介するとともに、各回講師による各宗派の食事作法の説明や椅子坐禅、精進料理についての法話、創作精進料理の実食体験を通じて、仏教の教えの一端に触れていただく機会を提供する。また今回は開催場所を各宗派に関連する 2 箇所を追加し、他団体との連携、新たな受講者層の開拓を目指す。

（定員各回 30 名、参加費 1 回 6,000 円・学生割引 4,500 円、開催時間 120 分の予定。）

また、令和 6 年度は特別回を設定し、精進料理が息づく場を実際に訪れ、元總持寺典座で現在は可睡齋典座である小金山泰玄（こがねやま・たいげん）師より直々に精進料理の調理指導をしていただき、実際に受講者自身も調理体験・実食していただきお寺の日常を垣間見ることが出来る機会を設ける予定である。

開催日程、各回の講師は検討調整中。

開催日程	開催場所
令和 6 年 6 月頃	通常回①：仏教伝道センタービル・菩提樹
令和 6 年 9 月頃	通常回②：曹洞宗宗務庁・グランドホテル
令和 6 年 12 月頃	通常回③：築地本願寺・紫水
令和 6 年 3 月頃	特別回（1 日研修旅行）：可睡齋

◇連続講座「ブッダの隣人（仮）」開催について

仏教は他宗教と相互に影響を与えつつ、独自の発展を遂げていった。本講座では、インドにおける他宗教（ヒンドゥー教、ジャイナ教、ゾロアスター教、イスラム教）の成り立ちとともに仏教との交流面に焦点をあて、インド国内で仏教と共存し、交流していた他宗教（隣人）について学びを深め、インドの多様な宗教性を知る機縁とする。

開催日程、各回の講師は次の通り。

開催日程	テーマ	講師名
令和6年9月	ヒンドゥー教	加藤隆宏氏（東京大学准教授）
令和6年10月	ジャイナ教	河崎 豊氏（東京大学助教）
令和6年11月	ゾロアスター教	青木 健氏（静岡文化芸術大学教授）
令和6年12月	イスラム教	保坂俊司氏（中央大学教授）

（定員 会場 50名、オンライン 100名）

（参加費：会場参加・オンライン参加とも1回 2,000円・学生割引 1,500円）

（講義時間 18:30～20:30 の120分）

◇「ビジネスパーソンのための仏教講座」開催について

40代、50代の現役ビジネスパーソンを対象に、仕事上の悩みの解決の糸口を仏教を通じてみつけてもらうための講座を開催する。講師は松波龍源氏（真言宗僧侶・実験寺院寶幢寺僧院長）。司会進行には北野唯我氏（株式会社ワンキャリアCSO）を予定。（参加費：3,000円・学生割引 2,200円、開催日時等詳細調整中）

◇ワークショップ「チベット医学と仏教」について

仏教思想を基盤とし、東洋医学の源ともいわれるチベット医学を知るワークショップを開催する。講師には日本人唯一のチベット医である小川康氏を招き、ご自身が経験したチベット仏教文化圏での生活と薬学の関係をわかりやすく講義いただき、身近な薬草を用い軟膏をつくるワークショップを開催する。

（定員 20名、参加費 6,000円・学生割引 4,500円、開催日時等詳細調整中）

◇花まつり展示等について

令和6（2024）年3月22日（金）～4月8日（月）（※土日は除く）まで、仏教伝道センタービル1階ロビーにて、全日本仏教会主催「第7回花まつりデザイン募集」の入選作品の原画14作品（大賞4作品、佳作10作品）を展示する。

また全日本仏教婦人連盟より提供の「花の種」、大和証券株式会社より提供の「サクマドロップス」を配布する。

◇願いの一字コンテストについて

2025年新年の希望の一字を公募し、揮毫する「願いの一字コンテスト 2025」を開催する。漢字の公募期間は2024年10月15日～12月15日。発表は、2025年1月6日（月）大本山増上寺（港区）にて行い、書家 鈴木猛利氏が揮毫する。揮毫した書は、掛け軸に表装し保管する。

◇動画コンテンツ企画について

仏教精神とその文化興隆にかかわる啓蒙活動の一環として、動画に特化したコンテンツや公式YouTubeチャンネル公開用の動画制作を企画推進する。

◇広報活動について

各開催講座やイベント等の情報はホームページ、LINEやFacebook等のSNS、チラシなどを利用し、広く一般に情報を発信し、多くの方の受益の機会を開くものとする。

2. 仏教音楽の現代化とその普及事業について

伝統的宗教音楽を継承すると同時に、仏教音楽の現代化を進め、広く仏教精神とその文化に親しんでいただくことによって、仏教的基盤の確立を目指し、仏教音楽にちなんだコンサートや、新しい仏教音楽の作品募集などを行っている。

令和6年度は、2025年9月、築地本願寺（中央区）に寄贈するパイプオルガンの建替えプロジェクトを進める。また、今後の仏教音楽祭の企画等について審議するため音楽普及委員会を1回開催する。

3. 貸し会議室事業に関する事項

◇公益目的事業としての施設の貸与事業について

仏教伝道センタービルの施設を有効活用し、公益目的事業として施設の貸与事業を行う。当協会が公益財団移行後に公益目的として掲げる“豊かな人間性を育て、より良い社会の形成を促進しもって人類の幸福と世界平和の実現”に貢献する事を目的とした会議等を開催する公益法人、社会福祉団体、NPO法人、市民団体等を優先し、通常（一般）は3ヶ月前からの予約受付に対し、6ヶ月前から予約を受け付け、通常（一般）価格の半額で貸出し、多くの公益目的事業を側面から支援することによって、社会貢献する。

II. 収益事業計画（収1）

◆収益事業としての施設の貸与事業に関する事項

仏教伝道センタービルの施設における公益事業目的で当面使用予定のない空きスペースならびに空き時間を一般に向けて貸与する事業を令和5年度も継続して行い、利益のうち50%を公益目的事業に寄付する予定である。

III. その他

本事業計画に掲げるもののほか、この法人の目的達成のため、必要と認める事業を行う。

以 上